



議員席前に設置された質問席

岩沼市議会では、その後、数市の実態調査併せて全国市議会議長会法制担当の参考意見の聴取、更に調査、検討を行い、一問一答方式の方が質問と答弁がわかりやすいと、平成15年12月、発言席の設置について諮問し、答申を得て、平成16年2月定例会より導入され、この方式による一般質問の反省と再研修等行い現在にいたるとの説明を受けました。

最後に議場見学を行って実際の質問席を検分しました。有意義な研修視察だったと総括します。

会営委員会 議運委員

宮城県岩沼市議会へ 行政視察を行なう

平成20年1月31日、議会運営委員会委員10名参加のもと、調査事項とした議会運営についてと今回の調査目的である議会改革(対面型、一問一答方式による一般質問の導入と経緯、経過など)について宮城県岩沼市議会を視察して来ました。

岩沼市副議長、議会事務局職員の方々より導入の経緯として、平成13年6月定例会のための議会運営委員会委員から政務調査費の条例化にあわせ、代表質問制について導入してはどうかとの発言があり、議会運営委員会で検討することになったとのことでした。これは、地方分権時代を迎え、議会の監視機能強化と政策提言機能の発揮をねらいとしているといえる、などの説明がありました。

陳情の審議結果(3月議会)

採 択

陳 情

- 特別支援教育支援員の配置について  
秋田県教職員組合横手平鹿支部  
支部長 福山 新悦
- 特定疾患に対する援助について  
鈴木 定雄

趣旨採択

陳 情

- 汚泥等による有機性肥料製造工場建設の反対について  
汚泥による肥料製造工場建設に反対する会  
代表 地縁法人大沢部落会 会長 渡邊 慶一郎

意見書を政府関係機関に提出しました。

- 同一都道府県内で完結している一級河川の管理を都道府県に委譲しないよう求める意見書
- 道路特定財源制度の堅持を求める意見書

編集後記

春、花の咲く阿桜や〜

なつかしき往年の「横手一中応援歌」を口ずさむ年代も、もはや団塊の世代から高齢者に限られるのだろうか。

65歳からは、見守りを要する特定高齢者。支援や介護を要する認定高齢者。さらに今月からは74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者などと分類し、在宅看取り率を2割から4割に増やすと国では言っている。訪問看護もホームヘルプも十分に整えてこそ話さるうに・・

有史以来、どの時代にも増して今日を生きる私たちは「命と健康、自分持ち」を肝に銘じなければなるまい。

この街で取り組み得ることを見つけ出すのが議会の役目ではないだろうか。まだ残る地域コミュニティ・耕作可能な土地・無農薬に限りなく近い有機農作物・生産者と消費者の顔の見える安心安全な直売・無理のない物流・保育園や幼稚園や学校や公民館を中心とした交流を深めることで、保健と福祉そして産業と暮らしが循環し、ラセンを描いて発展していくことで健康長寿社会が実現するのではないだろうか。市民コンセンサスを得る各所の活発な議論を期待したい。(まちこ)